

長島文芸

ながしまぶんげい

長島短歌会

石路の黄花咲き初む季いたり水筒の水今融け難し
たつふりと汁を含める梨食へば秋の冷気が身に染みわたる
当て所なく山路歩けば石路の黄花の群がわれに逼り来
沖遠く海面に夕日あかあかと黒く甑の島影うかぶ
刈り跡の泥の香こもる田に群れて雀らせはしく稲株あさる
闇空に流れ星見んと庭に出づ真近き港の波音静か
霜月の軒端にゆれて枝の先ブーゲンビリアの朱き花房

米尾 和子
坂之下典子
中山タマエ
浜田美代子
浜畑 松枝
岩下 ち江
樫平 頼子

一般作品

日が暮れて島影も濃く牛深に灯り点りて心安らぐ
秋の日にむきむきにはす大根のからきにおいが畑に満つ満つ
悩み解け土を耕し何事もなくアネモネの種子を植え込む
感覚が勝負のわれの料理なる酔いてますますレシピは不要
人生は我れしか知らぬ我れ知るや我れなさずとも事納まりぬ

小林 貢
中仮屋辰子
後藤ヨシエ
母木 良平
町田 末則

明神俳句会

廃れたる鳥の高校蜻蛉飛ぶ
漣を砂に残して水澄めり
柚子の香のききしナマスや箸休め
駆け上がる勢子なき畦や曼殊沙華
花芙蓉手話の指文字習ひおり
波音や古墳岬に群れ蜻蛉

淵脇 讓
二階堂妙子
関 佳代美
白男川孝仁
山寄加代子
大堂 早苗

菜園の野菜植え替ゆ秋日和
あり合わせいつつ並ぶ柚子豆腐
日にほひ草の匂ひや赤とんぼ
空澄みて季節はずれの桜咲く
分け入りて椎の実拾い懐かしむ

関 喜久雄
肥後 広行
迫口 君代
二階堂恵子
大堂 正弘

町立図書館のおすすめ

図書館に置いてある本の中から、おすすめを選びました。バラエティに富んだ本を紹介します。



こどもしょくどう

文：ひろはた えりこ
なぜ今「子ども食堂」が必要とされるのか？というテーマを子どもの視点から描きます。



ぎょうれつのできるスパゲッティやさん

著：ふくざわ ゆみこ
ぐうぐうやまに広がるスパゲッティのいいにおい。きのこにトマト、なすにバジル。どれもおいしそうでお腹がすいちゃうね。

町立 指江図書館 ☎ 0996-88-6500

町立 鷹巣図書館 ☎ 0996-86-1111